

No.26

# あすなろだより

2006年3月28日

発行 三重県立<sup>こども</sup>小児心療センター あすなろ学園 広報担当  
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL.059-234-8700 FAX.059-234-9361  
MAIL: [asunaro@gaea.ocn.ne.jp](mailto:asunaro@gaea.ocn.ne.jp) URL: <http://www.asunaro.pref.mie.jp/>

## 年度の終わりに

園長 西田 寿美

平成17年度、あすなろ学園は分離独立20年の節目を迎え、平成17年4月29日に県総合文化センターで記念シンポジウムを開催し、20周年記念誌も出版しました。

この10年を振り返って、子どもたちのために何が出来て何が出来なかったか、職員一同で検証しました。皆様にも記念誌をお読みいただき、ぜひご批判いただきたいと願っております。

今後も三重県の子どもたちの健康な育ちを支援することが、私たちに課せられた役割と考え全力を尽くす所存です。

皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 『SSTで子どもが変わる！ 職員が変わる！』

～SSTプロジェクトの取り組みより～  
指導室ダイケア・作業療法部門主査 鷲野 千秋  
＜SSTとは＞

皆さんは、「SST」という言葉を耳にされたことはありますか？

「SST」とは、「ソーシャル・スキルズ・トレーニング」の略称で、日本では「生活技能訓練」と訳されています。元々は、欧米で長期入院を余儀なくされていた慢性の精神障害者の社会復帰を促進するために開発された訓練法でした。

具体的には、対人関係のもち方やコミュニケーション方法、トラブルの回避・解決の方法などをグループで練習しながら、その技能をスモールステップで身につけていくトレーニングです。「叱責や罰」を与えて「不適切な行動」をなくすのではなく、「ほめる」ことによって、「適切な行動」を

増やすことができるため、最近では医療・福祉・教育・更生といった様々な分野で注目されています。

＜あすなろ学園にSSTを導入したきっかけ＞

子どもは通常、発達の中で、社会に適應するための技能を学習していきます。わざわざ、学校や塾で「挨拶の仕方」や「友だちとのつき合い方」などを教えてもらわなくても、家族や友だちといった身近な人々の言葉や振る舞い方の手本、あるいは一般的な常識やその場の雰囲気といった様々な手がかりを参考にして、知らぬ間に適切な方法を身につけていくのです。

しかし、当園に入院されるお子さんたちは、精神疾患や発達上の障害、不適切な養育環境等、様々な問題を抱えています。そのため、先に述べたような生活上の様々な手がかりを、自分の力で正しく理解したり、記憶したり、応用して対人関係技能を身につけていくことが困難です。かといって、一般的な方法（主には「何度も言って聞かせる」）